

令和6年度 シラバス

教科	芸術	科目	書道 I	学年	第1学年	学 科 類 科 型	普通科・商業科
単位数	2単位	教科書	書道 I (教育出版)				
副教材							

学習目標	書道 I の学習は、文字はどのような過程を経て形作られたのか、文字の美しさとは何かを考え、表現することを学びます。中学校の書写とは大きく異なり、幅広い文字の美しさを学びます。そのために古典（臨書）を中心とした学習は欠かせません。日本や中国の様々な時代の書を学ぶことで、書を見る力を養います。最初は知識や技術がなくても構いません。学習を積み重ねていくことで、見る力・考える力・表現する力を伸ばしていきます。
------	--

キャリア教育の視点	文字を書くことが少なくなった現在、手書き文字の良さが再認識されています。無機質な活字とは違い、手書き文字には感情が表れます。書道の知識や技術があれば、今までより更に書や文字を身近に感じ、自分に合った表現を楽しむことができます。卒業してからも文字や書に親しむために、知識を身に付け、感性を磨きましょう。
-----------	--

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月	漢字の書の学習 (楷書)	漢字の書体の変遷を学習します。唐の時代を中心とした楷書の古典学習を行います。	書道展に出品 作品提出 ワークシート
	5月			
	6月	篆刻の学習	篆書を用いた印を作成します。	
	7月	漢字の書の学習 (行書)	王羲之の書を中心とした古典学習を行います。	
2 学 期	8月	漢字の書の学習 (行書)	行書の古典作品を通して、中国の書と日本の書を関連させて学習します。	作品提出 書道展に出品 ワークシート
	9月			
	10月	漢字の書の学習 (半切)	半切形式で作品を制作します。	
	11月	〃 仮名の学習	古筆「蓬莱切」を中心に古筆学習を行い基本用筆や紙面構成を学びます。	
3 学 期	1月	〃		作品提出 合評会 ワークシート
	2月	漢字仮名交じりの書の学習	主題を決めて、作品を制作します。	
	3月	まとめ		

学習の方法	A表現は、「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」の各分野で作品制作を行います。書を構成する要素の観点から書を分析し、知識や技能を表現に生かしていけるよう取り組みます。 B鑑賞は、書を構成する要素を分析した知識や、表現を通して深めた知識や技能を生かし、臨書作品や創作作品の鑑賞を生徒同士します。(相互鑑賞) また、自己評価など学習の振り返りを行い、学習の過程や成果を確認します。
-------	---

評価の仕方	定期考査は行いません。 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	A表現 (完成作品、創造的な技能) A表現 (主題意図と工夫) B鑑賞 (鑑賞活動、発表内容) A表現 (活動状況、提出物、発表、作品の工夫) B鑑賞 (鑑賞の発表、協働的な活動状況、感想)	B鑑賞 (ノート、自己評価)
-------	---	---	----------------

備考	材料費として、2,000円徴収します。大筆、小筆については個人で用意してください。(筆については、学校での予約販売も行っています。)
----	--